

酒田市沖洋上風力発電に関する意見交換会 ～洋上風力発電を契機とした地域振興～

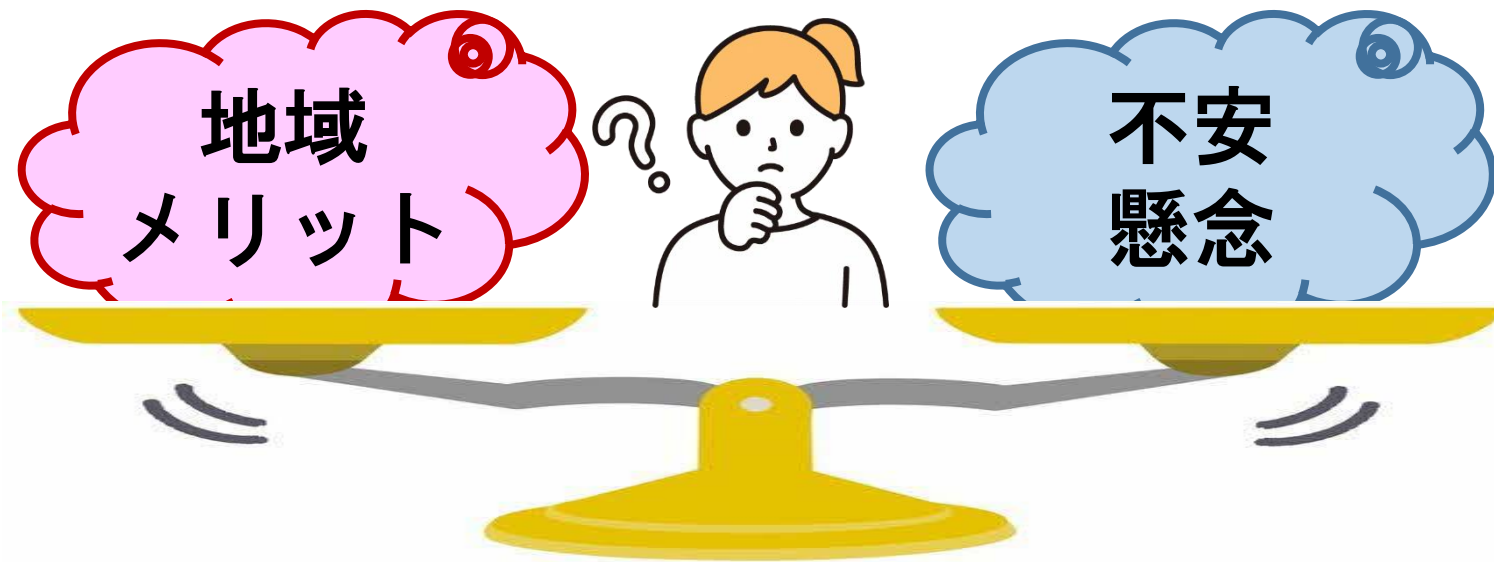
令和 6 年 6 月
酒田市 商工港湾課



- 1 洋上風力発電事業の制度概要（地域振興策関係）**
- 2 酒田市沖洋上風力発電事業に係る
地域振興策の基本的な考え方**
- 3 意見交換**



1-1 なぜ地域振興策の意見交換を行うのか？



①地域メリット

⇒ 最大化

- ・地域の活性化
- ・産業の活性化
- ・暮らしの利便性向上

②不安・懸念

⇒ 最小化

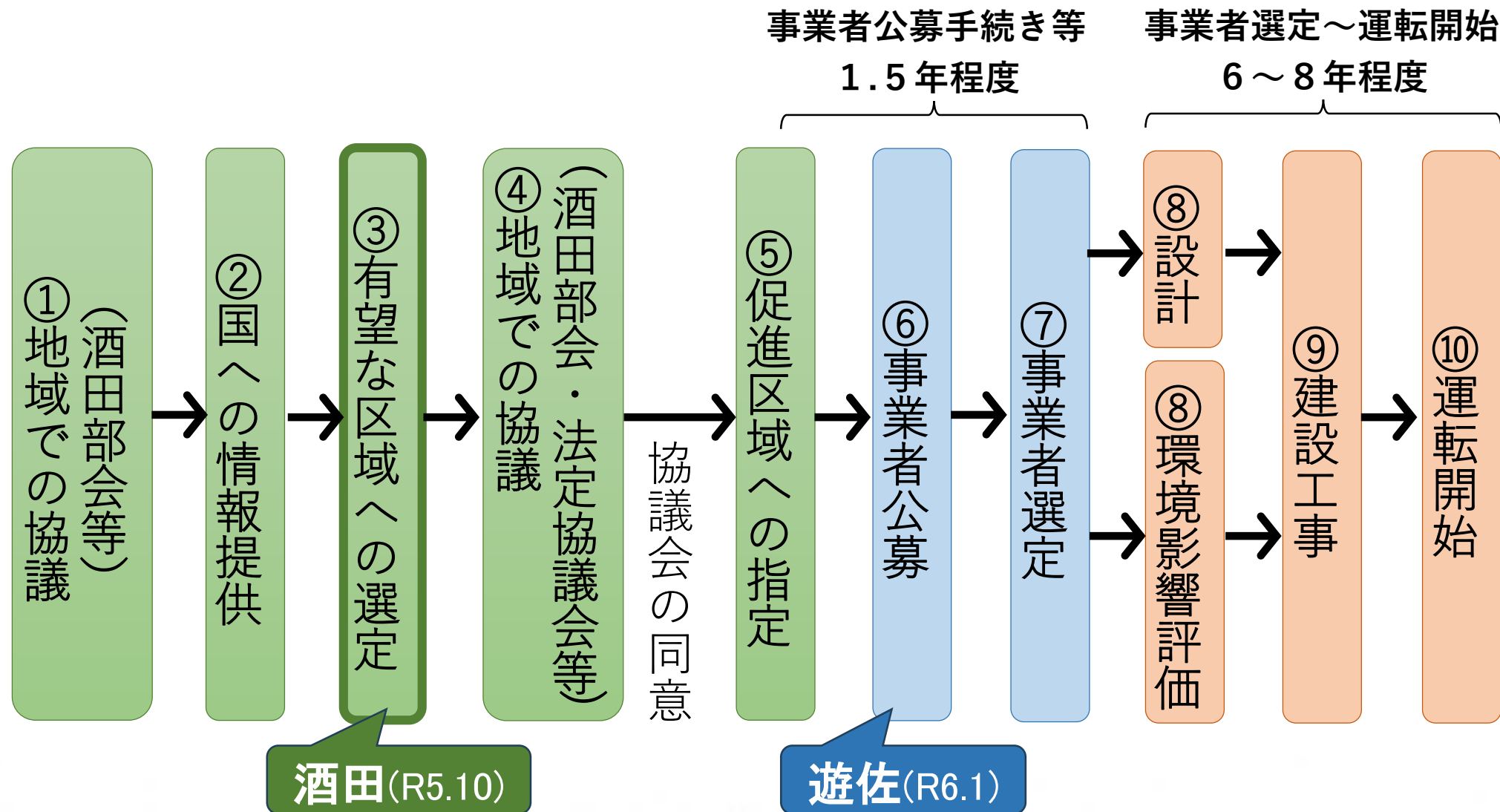
- ・漁業への影響
- ・騒音・景観への影響
- ・動植物への影響

○洋上風力発電の
地域メリットを
最大化したい

○事業者を求める
「地域振興策」の
たたき台について
ご意見をいただき
たい



1-2 再エネ海域利用法に基づく検討の流れ



※北海道松前沖における協議会（第2回）（令和6年3月）「洋上風力発電所の環境影響について」を参考に再構成

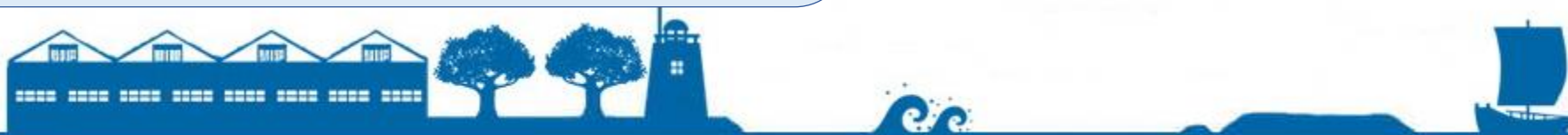


促進区域の指定要件

1. 自然的条件が適当で発電設備出力が相当程度見込まれる
2. 航路等へ支障を及ぼさない
3. 港湾との一体的な利用が可能
4. 系統の確保が適切に見込まれる
5. 漁業への支障を及ぼさないこと
が見込まれる
6. 漁港区域や港湾区域、海岸保全区域等と重複しない

漁業への支障の有無については、洋上風力発電によって想定される漁業への影響を考慮しつつ、併せて実施される共生策等を通じて、発電事業と漁業との共存共栄が実現可能かという観点から判断する

※「海洋再生可能エネルギー発電設備整備促進区域指定ガイドライン」より抜粋



協議会意見とりまとめ

1. 全体理念
2. 地域・漁業との共存共栄
3. 漁業影響調査
4. 事業者への留意点
5. 環境配慮事項

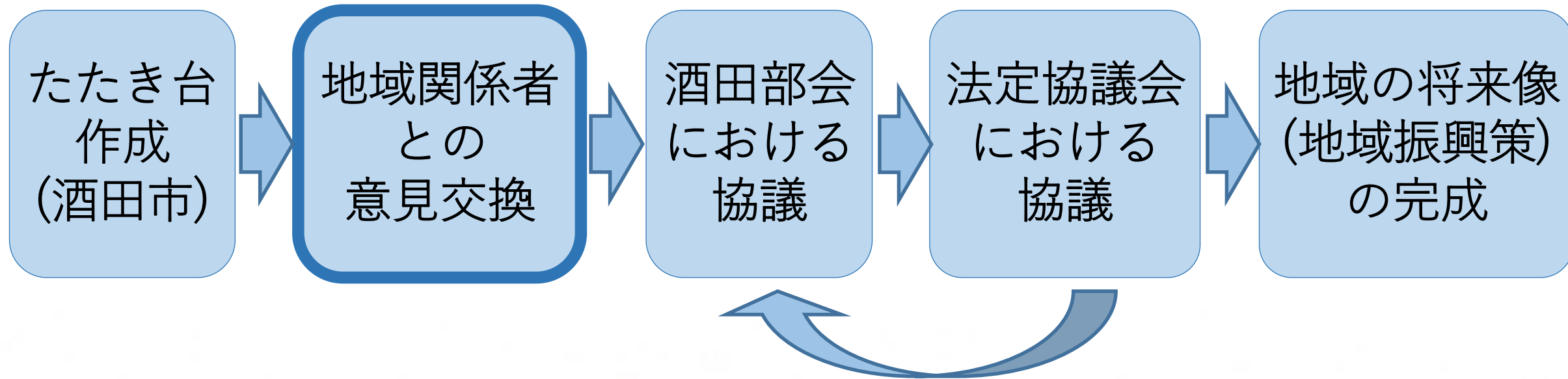
地域の将来像

1. 目指すべき方向性(目標)
2. 漁業協調策・漁業振興策
3. 地域振興策

- 再エネ海域利用法に基づく法定協議会では、地域の意見を「協議会意見」としてとりまとめます。
- 協議会意見には、事業者へ求める事項として、「環境配慮事項」「漁業協調策」「地域振興策」などがあります。
- ここからは酒田市沖で洋上風力発電に取り組むかの判断要素の1つとなる「地域振興策」の検討状況を説明します



- ①現在「有望な区域」整理後の初回の酒田部会・法定協議会に向けて意見交換等を実施中
- ②今後は酒田部会等で協議を複数回行い、地域振興策を磨き上げていく（他海域では、法定協議会を3回程度開催）



- 1 洋上風力発電事業の制度概要（地域振興策関係）
- 2 酒田市沖洋上風力発電事業に係る
地域振興策の基本的な考え方**
- 3 意見交換



①地域振興策への期待と制約

- 洋上風力発電事業は、世界で事業を展開をする発電事業者や総合商社と連携できる絶好の機会
- 地域振興策は、事業期間を通じて実施
- 地域振興策は、採択事業者の地域貢献の一環として行うため、地域の諸課題を全て解決することは不可能



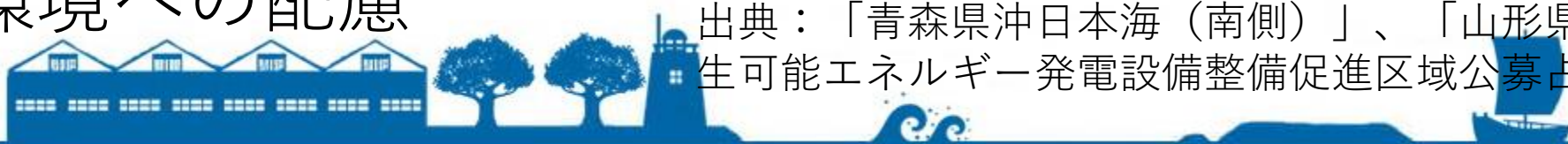
②検討のご留意点

- お金をかければ実現できる項目よりも、企業のノウハウ・ネットワークを生かして酒田を元気にするアイデアをご提案ください。
- 2030年代以降を見据えた中長期的な視点でご意見をお願いします。
- 皆さまのご提案を、全て実現させるのは難しいとは思いますが、積極的にご意見をお願いします。



- ①地域における新産業の育成、関連する雇用確保
- ②電力の地産地消
(環境的な付加価値の高い地域産業の創出など)
- ③地元での環境教育、洋上風力発電に関する人材育成
- ④観光振興
(洋上風力発電設備や豊かな自然環境の活用)
- ⑤港湾・漁村地域の活性化
(酒田港の活用や吹浦漁港のメンテナンスへの活用など)
- ⑥地域住民の安全・安心な暮らしの実現、自然環境の保全、海洋環境への配慮

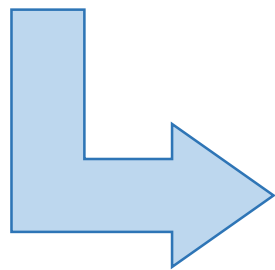
出典：「青森県沖日本海（南側）」、「山形県遊佐町沖」海洋再生可能エネルギー発電設備整備促進区域公募占用指針を抜粋要約



酒田市の課題・背景

- あらゆる分野での担い手不足など酒田市が直面する課題の主な原因は「急激な人口減少」
- 洋上風力発電事業を契機として、人口減少をできる限り抑制し、人口が減少したとしても豊かに安心して暮らすことのできるまちを実現するための柱建てを設定

地域振興策の柱建て（案）



- ①安心して暮らせる地域づくり
- ②未来を担う人材の育成
- ③経済と環境の両立による地域産業の創出と強化
- ④カーボンニュートラル社会の実現

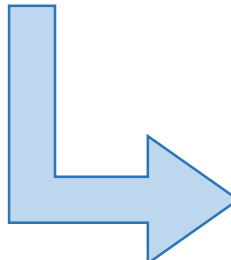


①安心して暮らせる地域づくり

<現状と課題>

- 急激な人口減少や企業の定年延長などによる地域の担い手の不足
- 空き家・松枯れ・少子高齢化など生活に密着した地域の諸課題

<地域振興策の例>

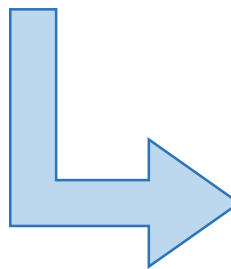
- 
- A large blue arrow pointing from the left towards the list of measures.
- 地域イベントや賑わい創出活動への支援
 - 市民に身近な都市公園等の松枯れ対策への支援
 - 市内の遊休・未利用資産（廃校、老朽公営住宅・空き家等
※民間所有物件も含む）の有効活用
 - 災害時に避難所等への電源供給（太陽光発電・蓄電池設置）
 - 車不要の社会実現に向けた次世代公共交通の確立への支援



②未来を担う人材の育成

<現状と課題>

- 年少人口および生産年齢人口の急激な減少
- デジタル変革(D X)、持続可能社会(S D G s)等の社会環境の変化
- 若年層、特に女性の流出（転出超過）



<地域振興策の例>

- 地域の洋上風力発電関連産業の人材の育成への支援
- 地域や社会を変えていく起業家育成等への支援
- S D G s 達成に貢献できる農業者の育成への支援
- 地域魅力を発信する人材（ガイド等）の育成への支援

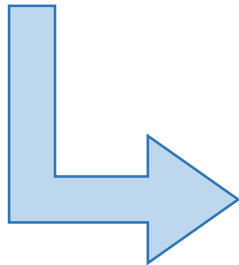


③経済と環境の両立による地域産業の創出と強化

<現状と課題>

- 仕事の選択肢を求める若者・女性の都会への流出
- 人口減少に伴う市内消費の減少（地域外需要[外貨]の必要性の増加）

<地域振興策の例>

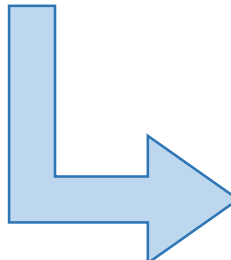
- 
- 将来の浮体式洋上風力発電の拠点化に向けた検討・支援
 - 風力発電の関連拠点（遠隔監視・部品保管等）の誘致
 - 地域の再生可能エネルギーを活用した新事業創出等
 - 酒田産農産物・加工品の販路拡大への支援
 - 水田で栽培可能で付加価値の高い新たな農産物の導入検討



④カーボンニュートラル社会の実現

<現状と課題>

- 地球温暖化による気候変動、自然災害の激甚化・頻発化
- 温室効果ガスの排出量の削減



<地域振興策の例>

- 市内企業の再生可能エネルギーの地産地消（RE100等）を後押しするための地域新電力会社の設立
- 地域の未利用資源（粃殻など）を活用した新事業創出の支援
- カーボンリサイクル（二酸化炭素の再資源化等）の検討支援
- カーボンマイナスに向けた森林・藻場活用への支援



- 1 洋上風力発電事業の制度概要（地域振興策関係）
- 2 酒田市沖洋上風力発電事業に係る
地域振興策のたたき台の概要
- 3 意見交換**

